

# こころ

## 第52号

平成30年 4 月

発行 高知厚生病院  
広報委員会

### ◆ 高知厚生病院の理念・基本方針 ◆

#### 理 念

敬天愛人

#### 基本方針

1. 地域の皆さまの尊厳を護り、心の通う医療と介護を実践します。
2. 自己研鑽に努め、自らと組織の発展向上を目指します。
3. 地域連携を進め、効率的に働きます。
4. 地球環境に留意し、災害に備えます。

## 西郷(せご)どんと敬天愛人

院長 山口 龍彦



今年は寒い冬から急に春がやってきました。桜が咲き、新しい年度が始まり、当院グループも新しい入職者を多数迎えることができました。私たちのグループに夢と希望を持って来てくださった方々に、今年の新採用者オリエンテーションにて「敬天愛人」の話をさせていただきました。

敬天愛人とは、天をおそれ敬うこと、人を愛することですが、今NHKの大河ドラマでやっている「西郷(せご)どん」西郷隆盛が座右の銘として生涯大切にしていた言葉でもあります。「天」とは「真理」「天帝(至高神)」「宇宙」といった意味で、人を愛するというのは万人への慈愛の心です。

西郷どんは、生涯この「敬天愛人」そのものの人生を歩まれた方です。その人となりを表すエピソードはたくさん伝えられていますが、その一つをご紹介します。

西郷隆盛が陸軍大将のとき、東京九段下の坂下まで歩いて来ると、重い荷物を引く老人が坂を上るのに難儀をしていました。それを見た西郷さん、早速荷車を後ろからぐいぐい押して坂の上まで押し上げてしまいました。おじいさんは感激して、どなたが手伝って下さったのだろうと後ろを見ると、金ピカの陸軍大将の軍服を着た西郷さんが平気な顔で汗を流しています。そのおじいさんはたまげて、地べたに頭を擦りつけて、ガタガタ震えながらお礼をいうと、西郷さん「着物が汚れるが」と言ってスタコラ坂を降りて行ったそうです。

それを見ていた部下が「陸軍大将ともあろう人が、荷車を押している所なぞ人に見られたら笑われますよ。」と苦言を言ったところ、

「俺はいつも人を相手にして仕事をしているのではない。天を相手に仕事をしているのだ。人が見ていようが、嗤おうが、俺の知った事ではない。天に対して恥じる事がなければそれでよい。」と部下を叱ったのでした。

この有名なエピソードは、西郷さんの気さくさ、謙虚さとともに敬虔な信仰者としての態度を私たちに

教えてください。私たちの医療・介護の仕事の根本は、地域の人々の尊厳を守り、希望を繋ぎ、ひとつの家族のように愛することだと思っています。尊厳を護り、希望を見失わないためには、人間を超えたもの、神、仏、真理、その代表としての「天」を畏れ敬うことが必要です。

死は全ての終わりではなく、あの世といわれる世界があるのだということ。その世界には天の秩序があるということ。天の世界からはこの世がよく見えていて、だからこそ天に恥じない生きかたをするということ。天に恥じない生き方ができたならば、死後に大きな希望が持てるということ。

そのようなことを信じる敬虔さを持ち、その上で社会に生きる人々に対して家族の様に慈愛の心を実践して生きることができたなら素晴らしいことです。

「敬天愛人」は、自らの人格を高めつつ、誰にもいつか訪れる最期の日まで希望を持って生きるための魔法の言葉として大切にしてください。

## ご紹介

### 禁煙外来 10 周年

副院長 計田 香子

**2008 年 4 月から禁煙外来を始めて現在まで 413 名の方が禁煙に成功されています。  
今回は成功された方よりいただいたお手紙をご紹介します。**

私は、煙草の喫煙を始めてから 25 年が経過していました。その間、ほとんど毎日のように 20 本前後の本数を吸っていたと思います。喫煙が齎す人体への悪影響は、様々なメディアでも過去再三に亘って取りあげられていますし、ある程度の知識も得てはいたのですが、元々、職場の同僚や友人に喫煙者が大勢いたことや、仕事上のストレス解消という目的が、自分の心のなかでは大きなウエイトを占めていて、これまで特に真剣に禁煙しようなどと思う事はありませんでした。

今回、禁煙しようと思った一番の要因は、やはり自分の子供たちから「お父さん、煙草の臭いがするよ！」の一言でした。それまでは、妻や煙草を吸わない友人知人に何をどう言われても禁煙に踏み切ろうという気持さえ起きなかったのですが、我が子に言われた時はかなりショックでした。そこで禁煙に本腰を入れてチャレンジしてみようと思ったのですが、私はこれまで 25 年も欠かさず喫煙し続けてきたわけですし、そんな簡単に煙草を断つことが出来るだろうかという大きな不安がありました。実際、私の知人の中にも、禁煙に踏み切ったものの誘惑に耐え切れずに失敗したという人がたくさんいたので、おそらく、自分も止めてから三日と経たないうちに、吸いたくなってイライラが積み、結局挫折してしまうのが落ちなのではないかと思いました。そんな時、禁煙に成功したある知人から紹介してもらったのが、こちらの禁煙外来でした。

まったく予備知識もなく始めた禁煙外来だったのですが、予想外だったのは通院初日からいきなり喫煙禁止をきつく申し渡されるといきや、最初の一週間程度は吸っていてもいいですよと言われたことでした。診察直前に煙草の健康に及ぼす悪影響について講習を受けさせられた私は、すっかり身構えてしまっていたので何だか肩すかしをくらったようでしたが、これがいい感じに力が抜けてよかったのじゃないかと思っています。おかげさまで、初段階はすんなりと自然に入れて何の苦痛を感じることも無かったです。担当して下さったお医者様もとても親切で、治療を続ける上でこちらが不安や疑問に感じたことを的確に対処し



て下さったり、納得のいく説明をして下さったので通院を重ねるたびに信頼と安心を強めることができました。治療期間中に飲み続けたお薬のチャンピックスも、お医者様がきちんと計画的に処方をして下さったので、よく耳にするような吐き気や胃もたれなどの症状もまったく感じず、喫煙したいという衝動に悩まされることもなく、不思議なくらい穏やかな心持で毎日を過ごすことができました。一回くらい吸いたくて堪らなくなり、イライラするんじゃないかと思っていましたが、私の場合はまったくそんな気持ちにならなかったのも逆に驚いたくらいです。

長いように思っていた治療期間もあっという間に過ぎて終了となりましたが、今ではすっかり体も軽くなり、食事が美味しく感じるようになりました。時々、以前の癖で胸のポケットに手が伸びることは今でもあります。喫煙を我慢しているというような抑制された心理状態というわけでは決してなく、「あ、止めたんだっ…」と思い当り、クスリと微笑むそんな今日この頃です。以前は、煙草の臭いがするからと避けていた娘たちも、今では笑顔で私に抱き付けてくれるようになりました。改めて、思い切って禁煙外来を始めてよかったと思います。そして、担当して下さったお医者様に心から感謝いたします。娘たちや妻の笑顔がいつまでも見られるように、これからも煙草とは無縁の生活を続けていきたいと思います。



## 新入職員紹介



**下村 あゆみ**  
看護小規模多機能型居宅介護こうせい  
趣味：野球観戦  
自己PR  
利用者様、一人ひとりの関わりを大切に笑顔で勤めます。



**戸田 規允**  
看護小規模多機能型居宅介護こうせい  
趣味：ドライブ、音楽鑑賞  
自己PR  
今までの経験を活かして、さらに成長していけるように頑張っていきたいと思います。



**西村 新**  
グループホームこうせい  
趣味：ドライブ  
自己PR  
マイペースでコツコツ物事に取り組む性格です。人見知りなところがありますが、なじむと意外と話すようになります。



**川田 加奈**  
通所リハビリテーションこうせい  
趣味：旅行  
自己PR  
みなさんのパワーに負けない様に頑張ります。



**長崎 くに子**  
外来  
趣味：手芸、編み物、パッチワーク  
自己PR  
元気だけが取り柄です。



**水洞 麻紀**  
外来  
趣味：読書（マンガも好きだし、小説も読みます。）  
自己PR  
苗字が珍しいのですぐに覚えてもらえると思います。頑張りますのでよろしくお願いします。



山本 真奈美

外来

趣味：読書、映画鑑賞

自己PR

2月より勤務している山本 真奈美といいます。高知厚生病院では、学生の頃勤務をしていてお世話になりました。看護師となり約20年ぶりに再び勤務させて頂くことになりました。学生の頃に比べると建物や色々な事が変わっており、全く新しい地での勤務のように感じています。精一杯頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

## 行事報告

### 龍馬マラソン2018

緩和ケア科部長 小栗 啓義

2013年に始まった高知龍馬マラソンも今年で6年目となりました。年々、参加人数も増え、今年は1万人を超えました。一昨年には、マラソン中に心肺停止を起こした方がランナーとして走っていた医師、看護師、消防士（救命救急士）の適切な処置により、救命され、再度マラソンが走れるようになったというエピソードもあります。医療関係者がランナーとして走っていることは、非常に安心できることなんだなぁと実感した次第です。

今回、2018年2月18日に行われた高知龍馬マラソン2018でも多くの病院から医療スタッフがランナー、救護所スタッフ、ボランティアとして参加されていました。2017年から参加している高知厚生病院のチームも、今年はユニフォームをそろえ職種も様々で医師、看護師、理学療法士、薬剤師、介護士、事務、相談員の合計8名で参加しました。残念ながら、1名は体調不良のため完走できませんでしたが、7名は42.195kmを完走いたしました。

来年は更にランナー、応援を増員し、高知家を盛り上げたいと思います。多くのご声援またご参加をお待ちしています。



### ボランティアミニコンサート

地域連携・緩和ケア支援室 竹中 莉恵

平成30年3月10日（土）松尾貴臣さんによるボランティアミニコンサートが開催されました。勇ましい着物姿とは対照的に伸びやかに響く優しい歌声に癒されるひとときでした。コンサート中盤には席の合間を歩きながら歌ってくださったりと会場が一体となり、素敵な時間が流れていました。一緒に口ずさまれたり、体を揺らしながら拍手を送られる参加者の方の笑顔がとても印象深かったです。





## 介護老人保健施設こうせい お花見会

介護福祉士 大野 やよい



4月10日にこうせい お花見会を行いました。

今年は桜が咲くのも散るのも早く外に見に行けませんでしたので、ホールの壁にボンボリや桜の飾りつけをし皆様に見ていただくようにしました。

職員が淹れたてコーヒーや、綿菓子をつくり、甘酒、ジュース、プリン等、好きな物を入所者の皆様に召し上がっていただきました。

「甘酒で酔うた（笑）」「綿菓子美味しい、おかわり」などの声がかけられました。

そのほかには、シャボン玉を吹いたり紙風船を飛ばしたり、童心に帰って楽しいひと時をすごしました。

部屋に戻ったあとも、「最高やった!」「楽しかった」と言われる方や、皆様のいつもと違う表情を見ることが出来て本当に良かったです。

## 看護小規模多機能型居宅介護こうせい お花見会

岡林 智徳



4月のお誕生日会に、芸名「松竹小梅」こと、田上所長が歌謡ショーを行いました。

美空ひばりの、おまつりコンボ他、2曲を熱唱。84歳の山添さん、101歳の田中さんのお誕生日を皆で楽しくお祝いしました。

ありがたい事に、「又、歌いにきてちょうだいね!」と言ってもらって、所長はご満悦です。

## 新人オリエンテーション

事務部長 明神 聡

例年行っている新入職員オリエンテーションを4月10日、11日の2日間で行いました。

院長より法人理念、職員としての心構え等が話された後に、各所属長から部署の仕組みや役割の話がありました。

当法人の入職者は、大半の方が中途採用者なので、今までの経験を活かし当法人で新たな気持ちでスタートをされる方ばかりです。新入職員に負けないように、今年度も職員一同気持ちを新たに、心の通う医療と介護を実践していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

皆さま、医療法人山口会に新たに加わったパワーにもご期待下さい。



## ご報告

### 認定在宅看護専門看護師

平山 司樹



平山司樹（ひらやま かずき）と申します。

昨年 12 月に在宅看護専門看護師の認定を受けることができました。

専門看護師とは、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた看護師です。

在宅看護専門看護師として、在宅でも質の高い緩和ケアが受けられることを地域の住民に知ってもらうこと。高知県のどこに住んでいても、必要十分な在宅緩和ケアが受けられる地域在宅緩和ケアシステムを構築することが目標です。自分一人で行えることは小さいですが、いい医療・看護を提供したいという同じ目標もつ仲間と共に行えば、地域全体を変える力になると信じています。「一緒にやると楽しい！」「一緒にやると変わった！」「一緒にやってよかった！」とみんなで分かち合えることが、在宅看護専門看護師としての私のやりがいとなっています。

患者さんや家族には、「高知厚生病院には平山がいて、相談できるから安心」と思ってもらえるようになりたい。そうなるためにも、専門看護師の存在を皆さんにもっと知ってもらいたいと思っています。

## 院長のつぶやき

### 武の心が平和を護る

院長 山口 龍彦

#### 戦争を知らない私達

戦後すぐに生まれた人は 73 歳だという。物心ついた頃に終戦だった人は 80 歳ぐらいだろうか。兵士として、或いは空襲を生き延びたなど戦争を肌で感じて知っている人はいよいよ少なくなっている今日この頃である。

戦争の頃の窮乏生活については、私などは戦時下に子ども時代を過ごした両親から伝え聞いた事がある。親の世代は、飢えながらも疎開などで生き延びてくれたのであり、そのことにより私たちが生まれてくることができたのである。親の世代が戦時下の困難を耐え抜いて、そして戦後は半世紀一生懸命に働いて「ジャパン アズ ナンバーワン」といわれるほどに豊かな国を造ってくれたことは、大変有難いことだと思う。感謝である。

ただ、戦後暫くして生まれたわたし達の世代は、豊かな時代に育った次の世代に、戦争について何をどのように伝えればいいのか分からないし、そもそも実感として伝えるべき何ものも持ち合わせてはいない。「戦争はいけない」そんな当たり前のことを、実感もなく言うしかないのが私たちの世代かも知れない。

しかし、漏れ聞くとところによると、日本の隣の国々では恐ろしい兵器を作っており、昔日本に支配されていた仕返しに、今度は日本が支配されるべきだという論理で日本人を憎むように子ども達を教育しているという。そのような国に囲まれながら、日本人の誰もが戦争を知らない時代に突入しようとしている今、永らく続いた平和な時代が終わりを迎えようとしているのかも知れない。

#### 「戦争は絶対に悪」か

日本国憲法には戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認が書いてある。そして、憲法の前文には「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」と明記されている。つまり、周囲の国々が平和を愛する諸国民で、公正と信義がある国ならば憲法 9 条を適用するが、日本を侵略する意図をもって攻撃をしてくるようならば、自衛隊が応戦できる事になっているのではないだろうか。

例えば、強盗が家に押し入ってくるならば、警察を呼ばないといけないし、警察が間に合わないときは

---

自分で自分や家族を守らないといけない。「戦いは絶対にいけない」と強盗に対して自分から白旗を上げ、相手のなすがままに身を置くならば、自分と家族の生命も財産も護れないことになってしまう。この場合、戦いをあくまでも避けるということは、自分も愛する家族も見殺しにすることであり、卑怯者のそしりを受けることであり、正義に反することではないだろうか。このような時の反撃は、当然ながら正当防衛として何処の国でも認められている。

アメリカはオバマ大統領のときに「世界の警察を辞める」と宣言しているので、アメリカが日本を護ってくれないこともあるだろう。そうなら日本は自力で自分の国を護らないといけない。

### 核武力について

戦争のしかたは時代によって変化してきている。戦艦による制海権が最も大切であった時代から航空戦力による制空権が闘いを決する時代を経て、今は宇宙空間を制する者が勝者となる時代となったといわれる。宇宙空間から降ってくる核ミサイルのボタンで恫喝されれば、通常の兵器は無力となる。日本は中国、北朝鮮、ロシア、核保有国に囲まれている国である。アメリカの核の傘があるからまだ恫喝されないで済んでいるだけだ。

核保有国同士の戦闘は双方の被害が甚大であるが故に起こりえないと一般的には思われている。したがって、自国を核保有国と認めてもらって対等な立場に立ちたいというのが北朝鮮の立場である。しかし、アメリカがもしこれを認めると、北朝鮮は日本を恫喝して様々な援助を引き出そうとするだろう。また、食糧と交換するために核兵器を欲しがる国やテロ組織に売るだろう。こうなると日本も世界も暗闇である。アメリカにはどうしても朝鮮半島の完全な非核化を早期に成し遂げて貰うしかない。

### 忘れてはいけない武の心

武の心は、正義を実現する心であり、愛する人々を護る愛の心である。拉致してきた他国民のみならず、自国民をも一部の人間のための奴隷として扱ったり、宗教を信じるチベットやウイグルなど少数民族の抹殺を行うような国が日本をめぐって攻めてきた時には、決して屈することなく、愛する人々を護るために、また、正義のために戦う勇気が必要だ。日本人は武の心を忘れてはいけないと思う。

日本のはじまりは神武天皇という武に優れた方により開かれて2700年近く、未だに存続している稀有な国である。蒙古襲来の時も、明治維新によって欧米列強の植民地化に抵抗した時も日本民族は武によって護られてきた。護りの強い家には強盗も入ることができないように、平和を守るためには武の心を忘れてはいけない。

### おわりに

今回は、医療や介護とは関係の薄い記事と思われるかも知れない。しかし、平和な社会あつての医療であり介護である。平和ボケのために日本を滅してしまつては、医療も介護もありはしない。日本の近くでの戦争が近づいているようなので、平和を護り、日本を護り、地域を護りたい一心で自らの思うところを述べさせて頂いた。

居合という古武道の稽古を行っている者のひとりとして、何故様々な武道が日本に連綿と伝わっているのか、何故それらを次の世代へと伝えて行かねばならないのか、少し分かった気がしている。武の心がなければ、平和は護れないということなのだと思う。



# 高知厚生病院 外来担当医 (H30.4.1 ~)

診療時間 午前 9時00分～12時30分(受付は12時15分まで)  
午後 1時30分～ 5時30分(受付は 5時15分まで)

			月	火	水	木	金	土
内科	午前	1診	副院長 計田香子	副院長 山口泰子	副院長 計田香子	副院長 計田香子	副院長 山口泰子	高知大医学部第2内科 船越生吾(隔週) 島村芳子(隔週)
		2診					高知大医学部第3内科 窪田哲也	
	午後	1診		副院長 計田香子		外来担当医	副院長 計田香子	(休診)
		2診						
消化器科	午前	1診	健診	吉本 忠	健診	吉本 忠	健診	吉本 忠
	午後	1診	吉本 忠		吉本 忠	吉本 忠	高知大医学部第1外科 外来担当医	(休診)
整形外科	午前	1診	岩津 理	整形外科・総合医療外来 11時迄 山口龍彦 11時以降 岩津 理	岩津 理	院長 山口龍彦	整形外科・総合医療外来 11時迄 山口龍彦 11時以降 岩津 理	岩津 理
	午後	1診	岩津 理	岩津 理	岩津 理	(休診)	岩津 理	(休診)
緩和ケア (予約診療)	午前	1診						(休診)
	午後	1診	院長 山口龍彦	院長 山口龍彦	小栗啓義		小栗啓義	
禁煙外来 (予約診療)	午前	1診						(9時～11時) 副院長 計田香子
	午後	1診	(14時～16時) 副院長 計田香子			(14時～16時) 副院長 計田香子		

- ※ 介護保険・要介護認定等…医師にご相談下さい
- ※ 通所リハビリテーション…月曜日～土曜日(ご利用に関しては、医師にご相談下さい)
- ※ リハビリテーション科…月曜日～金曜日の午前、午後と土曜日の午前中
- ※ はり治療……………毎週火曜日と木曜日の午前中で予約制です
- ※ 緩和ケア相談……………(予約制) ※ 緩和ケア外来……………(予約制)
- ※ 禁煙外来……………(予約制)

日曜・祝日・土曜午後 休診

ご予約に関しては  
病院受付までご連絡下さい  
**TEL:088-882-6205**



当院は  
平成15年9月22日より  
日本医療機能評価機構  
認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人  
日本緩和医療学会  
より認定研修  
施設として認定  
されました



◆ 厚生労働省より  
医師の卒後臨床  
研修施設の  
認定を受けまし  
た



新年度になり、今年こそは、何か運動をするぞと心に決めて  
みっていますが、実行されず。もうすぐ健診です…。皆様  
ぜひとも、花や、ペットの写真等、お寄せください！A・I

**高知厚生病院**

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655  
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>

- 介護老人保健施設こうせい Tel.088-882-6205
- 通所リハビリテーションこうせい
- 訪問看護ステーションこうせい ■ 高知厚生病院健診センター  
Tel・Fax.088-885-6714
- 居宅介護支援事業所こうせい  
Tel・Fax.088-885-5779

医療法人 山口会

**こうせい**

〒781-8121 高知市葛島2丁目5-12 Tel.088-802-5530 Fax.088-802-5531

- 看護小規模多機能型居宅介護こうせい
- グループホームこうせい